

# NEWS

2009.2~2009.7

## 東京藝術大学 次期学長候補者に 宮田亮平現学長を選考

東京芸術大学学長選考会議は、三月十九日開催の会議において、宮田亮平現学長の任期満了（平成二十二年三月三十一日）に伴う次期学長候補者を次の通り選考した。

### 【次期学長候補者】

氏名…宮田 亮平  
現職…学長  
任期…平成二十二年四月一日～  
平成二十八年三月三十一日まで

## 出版会活動

### ◆楽譜「チャイコフスキー『弦楽のためのセレーナデ』ピアノ独奏版」を三月二十七日より発売

クラシック音楽のなかでも屈指の名曲の一つで、広く一般に愛好されている作品、チャイコフスキー「弦楽のためのセレーナデ」作品48をピアノ独奏用に編曲した楽譜。弦楽パートの多彩な連弾による表情豊かな名作を、一台のピアノ独奏

用に編曲したこの版は、原曲の音楽内容を最大限に盛り込んだトランスクリプションであり、ピアノ演奏のソリストティク魅力と併せ持った新たなレパートリーとして評価されている。



### ◆CD『ホルベルク組曲〜マリンバアン サンプル・クイント』を四月十六日より発売

もともと弦楽合奏のために書かれたグリーグの作品とバッハのオルガン作品を、五台のマリンバによるアンサンブルによって演奏し、新たなサウンドを奏でる。《ホルベルク組曲》（グリーグ）の「前奏曲」や「リゴードン」における涼やかな音色「アリア」や「春」におけるトレモロなど、マリンバならではの響きが、原曲から新たな魅力を引き出す。



### ◆DVD邦楽で綴る『平家の物語』前編を五月十二日より発売

「平家物語」をテーマに、二〇〇八年九月十一日、奏楽堂において公演された「邦楽で綴る『平家の物語』前編」を完全収録したDVD。入道清盛の入寂までを題材に、既に伝承されている古典曲と新たに創作した曲とを交えて構成し、各曲の間を語りでわかりやすく綴ることによって、物語全体の把握を試みた画期的な企画となっている。



東京芸術大学出版会の出版物等は、本学藝大アートプラザ、アマゾン（ネット販売）および一般書店にて取り扱っております。詳しくは、藝大アートプラザ（〇五〇一五五二五二一〇二）まで

## 交流

### ◆大学間国際交流協定締結

二月二十日、ウィーン応用芸術大学（オーストリア）と本学は、芸術に関する交流及び教育研究協力を行うことに合意し、芸術国際交流協定を締結した。六月八日、国立台湾芸術大学（台湾）と本学は、芸術に関する交流を深めるとともに、教育及び研究に関する協力を行うことに合意し、芸術国際交流協定を締結した。

七月二十七日、国立台北芸術大学（台湾）と本学は、芸術に関する交流を深めるとともに、教育及び研究に関する協力を行うことに合意し、芸術国際交流協定を締結した。これらの調印により、本学における交流協定締結校は十六か国（地域）、四十二大学等となった。

### ◆東京芸術大学と理化学研究所が連携協力協定を締結

三月二十四日、本学と理化学研究所は、芸術と科学という全く異なる分野がお互いの違いを知ることで、こころや意識を含む森羅万象にこれまでにない見方で迫り、それぞれの表現を深めることを目的に連携協力協定を結び、理研東京連絡事務所（千代田区）において、宮田亮平学長と野依良治理事長が連携・協力の推進に関する基本協定書に署名した。

## 受章・受賞

### ◆鈴木雅明教授が「芸術選奨文部科学大臣賞」を受賞

三月十六日、音楽学部器楽科（古楽）の鈴木雅明教授が、平成二十年度の音楽部門における優れた活動を評価され、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した。

### ◆黒沢清教授が「第三回アジア・フィルム・アワード」（中国）作品賞、脚本賞を受賞

三月二十三日、大学院映像研究科映画専攻黒沢清教授が、「トウキョウソナタ」で第三回アジア・フィルム・アワード（中国）作品賞、脚本賞を受賞した。

### ◆桐野文良准教授が「二〇〇八年度日立技術士会賞」を受賞

四月十七日、大学院美術研究科文化財保存学専攻（保存科学）桐野文良准教授が取り組んだ「技術士育成支援のための図書出版等に関する特別会員グループ活動」が、社会に貢献したと評価され、二〇〇八年度日立技術士会賞を受賞した。

## 運営

### ◆東京藝大クッキー発売！

三月十九日より、藝大アートプラザに



今後は、総合的に芸術と科学を極めている両機関が、幅広い分野において組織をあげて連携協力を行い、研究・人材育成・共同制作などを進めていくこととなる。

で、東京藝大クッキーの販売が開始された。このクッキーは、本学が企画販売した「東京芸術大学カレンダー」、「藝大アートプラザオリジナル・ウオレット」に続くオリジナル企画商品で、販売価格は一〇〇〇円（税込）。



クッキーは、新百合ヶ丘と立川に店舗を持つ洋菓子店・イルフェージュのシェフ安戸哉夫氏の手によるもので、食べ応えのあるポリウムと、厳選された素材を用いた、ブラリネとアーモンドシヨラの二種の味を用意。またパッケージデザインは、美術学部デザイン科の松下計准教授が監修し、シンプルかつ贅沢な仕様が気品を感じさせる。

### ◆平成二十年度卒業式「悠々と!!」

三月二十五日、奏楽堂にて平成二十年度卒業式が挙行された。式は器楽科学部生による弦楽四重奏で清々しく幕を開け、学長式辞においては、箏、鼓、笛、三味線などの慶祝の雰囲気満ちた演奏が、邦楽科の教員らにより奏でられるなか宮田学長が登場し、巨大な特製パネルに「悠」という文字を揮毫した。宮田学長は「悠」を「水で心身が清められた平安な心の様子を表す字」と説明し、豊かな包容力をもつて歩んでいくよう、大学を巣立つ若者たちを激励した。

### ◆平成二十年度入学式

四月十日、奏楽堂にて平成二十一年度入学式が挙行された。器楽科学部生が奏でる弦楽四重奏の明るい弦の調べで歓迎するとともに、学長式辞で壇上に立った宮田学長は、壇上で揮毫した「視」という文字を掲げ、自らの目で広い視野と国

今号の特集は、“藝大の窓口”として定着した感のある、大学美術館と奏楽堂の10年を振り返る企画である。それぞれの社会との関わり方、立ち位置のようなものが徐々に明確になっていく過程が座談会で語られている。

美術館やコンサートホールは、どこの市町村にも点在するが、大学内にある、ということがやはり他とは異なる。この春、私が所属するデザイン科主催で行った企業のデザイン展でも感じたことだが、大学の中で開催されることによって、市場では見つけられない、例えばピュアな造形美や社会背景といった商品本来の魅力（市場評価とは違う）が確認できる。

過度な情報によって本質を見失ってしまう時代である。本来の価値を取り戻せる場合は、日本にそうあるものではない。二つの窓口への期待は、今後とも大きい。

藝大通信編集長  
長濱雅彦

展覧会・演奏会の最新情報は、東京藝術大学公式Webサイト (<http://www.geidai.ac.jp>) をご覧ください。

展覧会についてのお問い合わせ  
東京藝術大学大学美術館 Tel. 050-5525-2200  
NTTハローダイヤル Tel. 050-5777-8600

演奏会についてのお問い合わせ  
東京藝術大学音楽学部演奏企画室  
Tel. 050-5525-2300

演奏会チケットの取り扱い  
藝大アートプラザ Tel. 050-5525-2102  
ヴォートル・チケットセンター  
Tel. 03-5355-1280  
チケットぴあ Tel. 0570-02-0990  
東京文化会館チケットサービス  
Tel. 03-5815-5452

藝大アートプラザのご案内  
(株) 藝大BioN(ピオン)  
Tel. 050-5525-2102  
Fax 050-5525-2486

際感覚を身につけ、より豊かな想像力と判断力を持つ優れた人間へと成長してほしいと話し、映画の撮影で使用する「カチンコ」を鳴らして、大学生生活のスタートを切る学生たちを鼓舞した。

## ◆天皇皇后両陛下が「尼門跡寺院の世界」展を鑑賞

天皇、皇后両陛下が、四月二十七日、本学を訪れ、大学美術館で開催中の「尼門跡寺院の世界」展を鑑賞された。

尼門跡寺院とは、皇族・公家や将軍家など、高貴な身分の女性が代々の住持を務めてきた尼寺のこと、今もなお京都・奈良に十三か寺が残っている。本展では、数百年にわたり受け継がれてきた書や調度品、肖像画、御所人形など百八十余点を展示し、寺院で培われ、伝えられてきた典雅な伝統文化を紹介。

宮田学長をはじめとする本展関係者に迎えられた両陛下は、横溝廣子准教授の説明を受けながら、皇室ゆかりの品々などを熱心にご覧になった。

なお、本展には両陛下をはじめ皇族方が相次いで来場され、尼僧たちが守り続けた高貴な伝統文化の数々を熱心にご覧になった。

## ◆映画「ラッシュライフ」が劇場公開

大学院映像研究科映画専攻第三期生が、

企画から資金集め、キャスティング、撮影、編集、宣伝配給まで手掛けた映画「ラッシュライフ」が、六月十三日から東京（新宿バルト9）をはじめ、大阪、広島、九州にて劇場公開された。

現代の人気作家の小説を藝大生が映像化するという企画に、ベストセラー作家・伊坂幸太郎氏が賛同。同じく企画に賛同して出演を決めた豪華キャストの面々や、出資企業各社と共に、企画プロデュース、制作までの全工程を学生が中心となって行い完成した本作品。当初は単館上映の予定だったが、大ヒットスタートを受けて、全国順次公開が決定するなど映画界の話題を集めた。

◆学長と語ろうV 奏楽堂トーク&コンサート  
六月二十日、奏楽堂において、第五回「学長と語ろう 奏楽堂トーク&コンサート」が、ゲストに文化人類学者として著名な青木保文化庁長官を招いて開催された。

第一部は、青木長官と宮田学長が、それぞれの視点から文化・芸術について語り合った。なかでも日本文化が大眾娯楽性と芸術性の両方を備えること、現在、世界中に浸透しその重要性が高く評価されていることなど、日本文化を取りまく状況が確認され、日本がアジアと連携し

て、世界に羽ばたく時期がようやくやってきたと今後の更なる発展への期待を込めて対談は終了した。



第二部コンサートでは、湯浅卓雄准教授の指揮による藝大生オーケストラが、青木長官のリクエストに応え、「ラプソディ（狂詩曲）」の名を冠した名作三曲をフルオーケストラで演奏し、割れんばかりの拍手のなか幕を閉じた。

次回、第六回「学長と語ろう 奏楽堂トーク&コンサート」は、水中カメラマンの中村征夫氏を招き、十一月十四日（土）に開催される。

## ◆藝大とあそぼう（ようこそ！芸大ランドへ）

七月四日、奏楽堂をはじめとする音楽

学部構内の施設を舞台に、「藝大とあそぼう（ようこそ！芸大ランドへ）」が、開催された。



この「藝大とあそぼう」は、新しいファミリー・コンサートの可能性を追求するシリーズで、「子どもから大人まで楽しめる」企画を目指すもの。今回は大胆にモデルチェンジし、藝大が一日テーマ・パークに生まれ変わった。奏楽堂だけでなく、上野キャンパスの各所では、参加した一〇〇名以上の入場者で賑い、楽器を作って演奏したり、音楽に関するゲームやツアーが行われるなど、様々な音楽との出会いが繰り広げられた。

## ◆藝大フレンズ加入者状況

加入者数 平成二十一年七月三十一日現在  
賛助フレンズ 個人一七三名  
特別賛助フレンズ 法人五団体  
個人一六名

## ◆今年度上半期に開催された主な展覧会、演奏会記録

大学美術館  
芸大コレクション展 春の名品選  
会期 四月十四日～六月十四日  
入場者数 四万四四七七名  
皇女たちの信仰と御所文化 尼門跡寺院の世界  
会期 四月十四日～六月十四日  
入場者数 六万五三二六名

## 奏楽堂

第四回 奏楽堂企画学内公募演奏会  
「怪談〜前衛音楽が語る怪奇な物語」  
開催日 三月十四日  
入場者数 九二一名

東京藝大シンフォニーオーケストラ  
ドイツ公演記念演奏会  
開催日 記念演奏会一 七月二十六日  
記念演奏会二 七月三十一日  
入場者数 七二五名、七三六名